

様式 (6)

## 学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 595 号	氏 名	腰野 蔵人
審 査 委 員 会	主 査 教 授	山本 雅一	
<p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>今回の論文では組織工学アプローチによる小腸結腸上皮再生研究のため,新たなラット腸管モデルを開発した。これまでの動物モデルとは異なり、組織工学を応用した細胞シートによる移植・評価が可能となった。このモデルの特徴は、ラット盲腸から遊離腸管を作製しこれを移植部位として使用し、かつ動物用内視鏡を用いて腸管内腔の観察が容易となったことである。このモデルでは遊離盲腸内の便は人工肛門を通じて体外へ排出され、粘膜表面をクリアに保つことにより、繰り返し観察できる利点がある。また、移植モデルを作製する際に、便による修飾が抑えられると考えられた。遊離盲腸内腔に人工潰瘍を作製し、潰瘍面に細胞シートを安定して移植し、継時的に評価することも可能となった。</p> <p>今回の研究は炎症性腸疾患や潰瘍性病変に対する新たな取り組みを行ううえで、新規性のある研究であると考えられた。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表)【学校教育法学位規則第 8 条】</p>			